

羽賀場山～お天気山山行報告

【山行日】2021年3月27(土) 晴れ

【集 合】栃木市運動公園P AM 6:30

【費 用】マイカー2台 : 600円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL大西 青柳、鎌田、
石澤、小松原、島田、鈴木ヒ、関、廣瀬、福島
藤原、渡辺

【コースタイム】栃木市運動公園P6:30＝長安寺
7:25/7:50～第一鉄塔 8:30/8:40～第二鉄塔 8:55～
羽賀場山 9:50/10:00～777mP11:10～お天気山
11:40/11:50～二ノ宮 12:20～上大久保 12:50/13:00
＝町の駅「かぬま」13:30/14:15＝栃木市運動公園P15:00



今日は西吾妻山ヘスノーシューで登る予定だったが、コロナの影響で参加者が少なく断念した。代替山行として、去年3月思いがけない雪で途中から引き返した羽賀場山～お天気山を計画した。



近場の日帰り山行は人気が高く、13名の参加があり車2台に分乗して栃木市運動公園を出発する。途中、鹿沼運動公園でトイレを済ませ、登山口がある長安寺に着く。皆さんが靴を履き替えたら車に入れ、出発の準備をする間にS田さんと2人で下山口に車を置きに行く。上大久保の下山口に車1台をデポし、長安寺に戻って下の駐車場に車を止め、石段を登って境内に行く。皆さんストレッチを済ませ、我々が着くのを待って出発する。

本堂の右手にある登山口を登り、すぐ上の林道に出て左に進む。

本堂裏の斜面は杉の木がほとんど伐採され、一昨年の台風19号により土砂が流され改修工事が行われている。遠回りになるが左の伐採道の道を歩き、伐採地上部から尾根上の登山道に入る。

尾根の伐採地と樹林帯の境の登山道を登って行くと、展望が良い第一送電鉄塔の下に出る。

小休止し、衣服調整と水分を補給する。雑木林の登山道を進み、いくつかのピークを左右に巻きながら登り、尾根に出て北上すると第二送電鉄塔に出る。立ち休み後、さらに急な斜面を切り切ると主稜線に出る。主稜線を左に進み、板荷への分岐を右に分け少し進むと右手の展望が開け、笹目倉山や高原山が望める。急登のピークをいくつか越えて、笹の斜面をひと登りで羽賀場山山頂に着く。山頂には一等三角点が置かれているが、樹林帯の中で展望は得られない。



山頂で小休止し、果物や菓子を食ベエネルギーを補給する。ここからお天気山に向かって西へ進



む。尾根の分岐では北に入らぬよう注意し、方向を確認しながら進む。アップダウンを繰り返しながら主稜線を進み、北側の尾根には入らぬよう進む。ヤセ尾根の岩場の急降下は、ロープを頼りに慎重に下る。お天気山に近づくにしたがって陰しくなり、ロープや立ち木に掴まって通過する。さらにピークの巻道を通り、急坂を登り返すと777mピークに着くが展望は得られない。ピークから一旦鞍部まで下降し、最後の急斜面を登り返すとお天気山に着く。ピークは細長く山頂標識から

北に進むと、北に男体山を中心とした日光連山、北西に皇海山も望める。春の陽射しを受けて暖かく、景色を楽しみながらゆっくり休憩を取る。デコポンや菓子が次々出て、皆さん美味しそうに頬張っていた。暖かな日差しに誘われて、アカヤシオが咲き始め濃いピンクの花がとても綺麗だった。記念写真を撮ったら下山開始し、雑木林の急坂を南西側に降りて行く。ロープを使いながら急降下するが、尾根の両側にアカヤシオの花が沢山咲いていた。思いがけないご褒美に皆



さん大喜びで、アカヤシオの花を楽しみながら下ることが出来た。やがて大きな岩場にぶつかり、岩の上に二ノ宮の祠が祀られている。岩を超えて一ノ宮に向かい、分岐に出たら左の下山コースを下って行く。

ここからS田さんと二人で先行して下り、上大久保の登山口にデポした車で長安寺に向かう。長安寺で車を回収し上大久保の登山口に着くと、丁度皆さんが下山してきた。靴を履き替えたら車に乗り、町の駅「かぬま」に向かう。町の駅「かぬま」で昼食の蕎麦をいただき、

直売所で野菜や花を買って帰路につく。快晴の天気恵まれ、アップダウンが厳しいロングコースを縦走し、低山ながら充実した山行となった。